

あいち障害者センターNEWS(号外)

2026年4月

(講師派遣・研修版)

発行：NPO あいち障害者センター

「暮らし」について考える講座を準備中です。

近藤直子

2025年度はセンター企画「繋ぐ」講座を開設し、小学生から18歳までの支援をどうつないでいくかについて学び合いました。保護者と支援者で率直に意見交換できたこと、保護者にとっては学童期から青年期に向けての見通しがある程度もてたことが良かったと、主催者として自画自賛しています。

「繋ぐ」講座に参加された保護者から今後の企画希望として「暮らし」の問題を考え合いたいとの声があり、「きょうされん」等の関係団体の取組も踏まえつつ、センターとしては特に家庭における暮らしについて深めたいと考えました。成人後のグループホームなどの暮らしの場については、重い障害の人や強度行動障害の人が入れる場が少ないなどの問題が指摘されていますが、職員配置基準などの制度上の問題が壁となっていることは言うまでもありません。すべての障害当事者の「健康で文化的な生活」を保障する制度とするためには、健康で文化的な生活の内実を学び合い考え合うことが必要ではないでしょうか。

乳幼児期の障害児支援に半世紀余り取り組んできた私からすると、昼間の児童発達支援センターや保育園の「暮らし」は、職員間のもとより送迎時や行事を通して保護者と職員も共有し、子どもの姿に一喜一憂しつつ考え合うことのできるものです。学校は幼児期よりは共有する機会は少ないでしょうが授業参観や行事などを通して、卒業後の就労支援や通所支援事業等の活動の場では仲間や職員間で、互いの姿を共有していると思います。

しかし朝晩過ごす家庭の「暮らし」は家族以外の者にとっては、ある意味で「ブラックボックス」で「見えにくいもの」です。何時に起きて、朝食はどのようなものをどれくらいの時間をかけて食べるのか、これだけでも家庭によって大きく違っているでしょう。ベッドで寝ているのか、服は毎日着替えるのか、着替えは前夜に枕元に置くのか、朝タンスから出すのか、そんなこと一つ一つに各家庭のカラーがあり、その人の歴史があります。

私が後の夫の下宿を初めて訪れた時にビックリしたのは、8畳の下宿の床に新聞紙が敷き詰められていたこと、めくってみたらレモンのミイラが出てきたこと、要は掃除をせずにゴミを新聞紙で隠していたのですよね。小学校2年生から掃除も洗濯も料理もしていた私からしたら「アンビリーヴアポー」。でも掃除は私がすればよいので、おおらか(おおまか?)な人柄が魅力だったから結婚したのですよね。結婚後に夫の実家を訪問したら案の定「ゴミ屋敷」状態で「親譲りやんか〜」。だから一人一人「生活イメージ」が違って当たり前なのですが、ホームではその「多様さ」を保障しうる体制にはないからトラブルも起きるのではないのでしょうか。

ということで、①発達と障害の理解を基本に②現在の暮らしに関する制度を学ぶとともに③昼間の暮らしと朝晩の暮らしの意味を考え④「私の暮らし」シートを作成し⑤ケース検討を進め⑥性の問題も考え合い⑦本人主体の暮らしを考えられるとよいな、と考えました。いかがでしょうか？

2026 年度センター講座アンケートにご協力ください

「2026 年度センター講座」に向けてあなたの考え、思いを教えてください。
回答方法は、

- ① google フォームにて回答 : <https://forms.gle/E3aqzJqBo18L6kRC8>
- ② アンケート用紙にて回答、メールに添付 : mail asc732@spa.nifty.com
- ③ アンケート用紙にて回答、FAX にて返信 : FAX 052-682-7916

アンケート締め切りは 4 月末日。

アンケート結果を参考に 2026 年度センター講座を企画します。



子育て

直子先生とママさんの

あそびにきてね!!



もやいカフェ

毎月第4木曜日予定

(開催日はお問合せください)

子育てママさん、ベテランママさん、保育士さん、誰でも大歓迎!

時間 : 10 : 30 ~ 12 : 00

会場 : あいち障害者センター2F 研修スペース

エッ!? なにがはじまるのかな? 茶話会です。子育てママは大騒ぎ!
みんなでワイワイと、雑談の中から子育ての「あるある」を共有しましょう。
(お子様連れも大丈夫ですよ)

あいち障害者センターの事業紹介



【出前講座】近藤先生のこどもの発達基礎講座

(1回コース・2回コース・3回コース)

近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」をテキストに、

1. 発達とは何か？ 2. 乳児期の発達と「1歳半の節」
3. 2歳から3歳の自我の発達 4. 4歳、5歳のこころの発達
5. 学童期の発達 などをテーマとし、子どもらしいかわいさを発見し、子どもを応援できる手がかりとなるような発達の「学び」を願っています。



いくつになっても発達はある。発達の節目節目を見逃さないで。

発達保障の基礎、初任者研修におすすめ！

※テキストとして近藤直子著書「子どものかわいさに出あう」の購入が必要。

【出前講座】近藤先生の気になる子の秘められた魅力

近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」をテキストに、

「保育室にいてくれない」「暴言・暴力が目立つ」偏食がきつい
保育の場でよくあげられる、気になる行動の理由にせまったら、
みんなと違って気になるところを魅力に変える手がかりがみえてくる。



保育者のみなさんへ、そして園長さんへのエールです。

※テキストとして近藤直子著書「気になる子の秘められた魅力」の購入が必要。

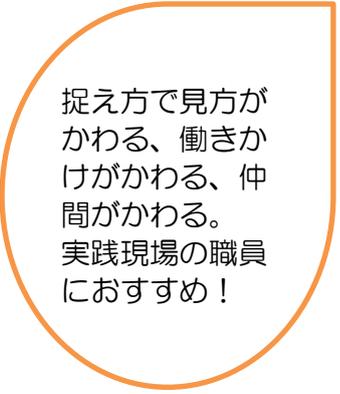


【出前講座】竹沢先生の障害のある仲間・子どものとらえ方講座

発達・発達保障について、現場での実践経験を踏まえた豊富な事例をもとに

1. 子ども・障害のある仲間のとらえ方と理解・働きかけ
2. 読み手に伝わる記録の書き方

などをテーマとし、講座を通して日々の支援の振り返り、
確信、支援のヒントなどをつかみ取っていただきたいと思います。
放課後等デイサービス、放課後児童クラブの指導員さんだけでなく、
成年期の仲間に関わる職員さんにも聞いてほしい。



発達の基礎を学ぶことで、子どもにも大人にも応用できる力をつけましょう。

その他、ご希望の内容にて講師派遣も受け付けております。

センターの紹介



学び、交流しましょう！

子どものこと、仲間のこと、「ああ、みんな同じなんだ」「ああ、そう考えればいいんだ」「あるある～」を、家族も、支援者も、関わるみんなで思いを共有し、今のこと、明日のこと、ホッとできる時間を過ごしましょう。どなたでも参加できます。

施設・事業所のスタッフ研修の場に保護者の思いを受けとめる研修の場に仲間の支援を共有できる研修の場に事業所だけでは広がらない学習の場にセンター講座をご活用ください。

発達理解講座、
子どもの捉え方、

保育・療育講座
実践記録の書き方講座

企画準備中！

こんな曜日に、こんな時間に、こんな話を聞いてみたい…
※日時も含め、ご要望にあわせた講座を企画します。

センターの応援団になってください。

■賛助会費：(法人・事業所・団体) 年間 1 □ 10000 円

■賛助会費：(個人) 年間 1 □ 2000 円

※センター講座は、賛助会員割引があります。

※センターエレベーター修繕募金にご協力ください。

①郵便振替(払込取扱票) 00810-7-78563

②ゆうちょ銀行 ○八九店(089) 当座 0078563

特定非営利活動法人 あいち障害者センター



地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町」徒歩 7 分

名鉄本線「神宮前」徒歩 7 分

市バス「神宮東門」徒歩 7 分

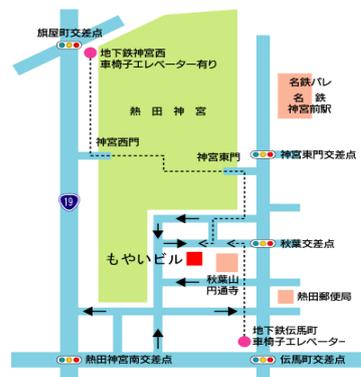
※駐車場はありません。近隣のコインパークをご利用ください。

NPO あいち障害者センター

住所：名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話：052-682-7911 FAX：052-682-7916

メール：asc732@spa.nifty.com (講師派遣・研修用)



学習したあとは熱田神宮へ散策！

ホームページ：<http://www.npo-asc.jp/>